

平成23年度当初予算（案）の概要

総合計画「輝け！ちば元気プラン」で掲げた基本理念「暮らし満足度日本一」の実現に向け、同計画に基づく施策を着実に推進します。

特に県民ニーズの高い、安全・安心な社会づくり、福祉・医療の充実や子育て支援などの施策に重点的に取り組めます。

成田空港をはじめとする本県の持つポテンシャルを活かして、千葉県の魅力発信や地域経済の活性化について積極的な取組を進めます。

平成23年度は、県税収入の伸びが見込まれることなどから、退職手当償などの特例的な財源対策を講じることなく収支の均衡が図られる見込みです。

当初予算案の主な施策

〔安全・安心な社会づくり〕

県民の身近で活動する移動交番車を13台増車し、全県下へ配備して、地域の実情に沿った犯罪抑止活動を展開します。また、ひったくり犯罪防止のため、市町村が行う防犯カメラの設置事業に対し助成するとともに、防犯パトロールや防犯啓発活動を強化して、ひったくりが発生しにくい環境づくりを推進します。

さらに、大規模災害時に迅速かつ的確な対応を図るため、支援物資等の物流計画を作成するほか、常設の災害対策本部の機能を備えた（仮称）危機管理防災センターを県庁舎内に整備するなど、災害に強い体制づくりを進めます。

移動交番車配備事業	1億円
ひったくり防止対策事業【新規】	70百万円
地域安全パトロール事業【新規】	3億 50百万円
災害時における物流計画作成事業【新規】	7百万円
（仮称）危機管理防災センター整備事業【新規】	20百万円

〔福祉・医療の充実〕

入所希望者の多い特別養護老人ホームについて補助単価を引き上げて緊急的に整備を進めるほか、老朽化した養護老人ホームの改築等を推進します。

また、高齢になっても住み慣れた住宅や地域に住み続けられるようにするため、高齢者の住まいと生活支援のあり方等の検討を行うほか、障害者の生活面・就業面での自立を一層促進するため、障害者就業・生活支援センターを増設します。

さらに、ドクターヘリや救命救急センターの運営費等、災害拠点病院等の耐震工事費に対し助成するほか、医師・看護師確保にかかる予算を大幅に増額します。また、千葉県地域医療再生プログラムに基づき、香取海匠地域及び山武長生夷隅地域における地域医療の再生に向けた取組を推進します。

老人福祉施設整備関係事業【一部新規】	83億 37百万円
高齢社会における継住力向上推進事業【新規】	5百万円
障害者就業・生活支援センター事業【拡充】	1億 9百万円
救急関連（ドクターヘリ・救命救急センター）事業	11億 8百万円
医療施設耐震化臨時特例整備事業	37億円
医師・看護師確保関連事業	20億 33百万円
地域医療再生臨時特例基金事業	20億 83百万円

〔子育て支援〕

子どもの保健対策の充実及び保護者の経済的負担の軽減を図るため、小学校3年生までの子どもの医療費を助成します。

また、待機児童の早期解消を図るため、民間保育所の施設整備費について国の助成に県が独自の加算措置を行い、緊急的に保育所の整備を促進するとともに、放課後の子どもたちの生活や遊びの場の確保、安全・安心な居場所づくりのために市町村が行う事業を支援します。

さらに、企業等の協賛により子育て家庭が各種割引等のサービスを受けられる、子育て支援事業実施のための調査・準備を行います。

子ども医療費助成事業	56億円
保育所の整備促進	38億 38百万円
保育対策等促進事業	10億 40百万円
放課後児童健全育成事業	13億 47百万円
放課後子ども教室推進事業	63百万円
企業参画型子育て支援事業【新規】	12百万円

〔子ども・若者の育成〕

私立高等学校及び私立幼稚園に対する経常費補助金について県単独の補助単価を増額するなど、保護者負担の軽減と学校経営の健全化、教育条件の維持向上を図ります。

また、児童・生徒の発達段階に応じた千葉県らしい道德教育の推進を図るため、小学校の道德教育教材の作成を行うとともに、千葉県としての道德教育の進め方について検討を行います。

さらに、特別支援学校の児童生徒の増加に伴う過密化・教室不足に対応するため、高等学校の空き校舎などを活用して、分校・分教室の整備を推進します。

このほか、ひきこもり本人や家族を支援し、ひきこもり本人の自立を促すため、ひきこもり地域支援センターを設置します。

私立学校経常費補助（一般補助）	335億 98百万円
私立高等学校等就学支援事業	64億円
道德教育推進プロジェクト事業	35百万円
特別支援学校分校・分教室整備事業	1億 51百万円
ひきこもり地域支援センター事業【新規】	7百万円

〔ポテンシャルを活かした千葉の魅力発信〕

千葉県は豊かな自然環境に恵まれ、新鮮で美味しい農林水産物も豊富で、多くの観光資源を有しています。各種メディア等を活用して本県の有する様々な魅力を国内外に発信するとともに、アジア地域において、トップセールスによる商談会やイベントを開催し、海外での千葉県の知名度向上を図ります。

また、成田空港周辺における国際交流・国際ビジネス機能の強化やカジノを含む複合施設の導入可能性などについて調査検討を行うほか、国際会議の県内誘致に向けた新たな助成制度を創設し、国内外の各地域との誘致競争力の向上を図ります。

さらに、本県を訪れる方々が気持ちよく滞在・観光できるように観光施設の整備を一層推進します。

千葉の魅力発信推進事業	1億 40百万円
世界に向けた千葉の魅力発信事業【新規】	13百万円
東アジア等における知事トップセールス【新規】	20百万円
成田空港30万回ビジョン具体化検討調査【新規】	32百万円
国際会議開催補助金【新規】	20百万円
観光地魅力アップ緊急整備事業【拡充】	1億 90百万円

〔雇用・産業と基盤整備〕

依然として厳しい経済・雇用情勢を踏まえ、金融機関等と協力して、県内中小企業向けの融資枠を確保するとともに、失業者や新卒者に対する雇用機会を創出する緊急雇用対策を実施するほか、若年者や就職困難者に対する就労支援機能を充実します。

また、本県農業の担い手育成の中核的機能を担う農業大学校をより魅力ある学校とするため、専修学校化に向けて施設の改修等を実施するほか、耕作放棄地の解消を図るため、従来からの再生作業に対する助成に加え、再生・利用に集落ぐるみで取り組むモデル地区の設置や、耕作放棄地を活用した露地野菜や飼料作物の生産を拡大する取組などを支援します。

さらに、交流・連携を広げ、県土の発展に資するよう、効果的、効率的な道路橋りょうの整備を進めます。

中小企業振興資金事業	1,600億円
緊急雇用対策事業	129億 69百万円
ジョブカフェちば運営事業	1億 99百万円
農業大学校機能拡充事業	1億 10百万円
耕作放棄地総合対策事業【一部新規】	88百万円
道路橋りょう事業	339億 56百万円

〔公共施設の維持管理と長寿命化〕

道路・橋りょうや県立学校などの公共施設について、これまでの「事後的な修繕」から「予防的な修繕」へと転換し、各施設の長寿命化を推進します。

23年度当初予算においては、22年度2月補正予算で積み立てた公共施設整備基金を活用し、公共施設の耐震改修や長寿命化対策等を実施します。

主な基金活用事業（基金活用額 22億円）

橋りょう長寿命化対策事業	16億円
舗装道路修繕事業	52億円
県立学校耐震化推進事業	24億 80百万円
県立学校大規模改修事業	3億 24百万円